3039

POSICONTROL

インクレメンタルエンコーダ用多機能ディスプレイ

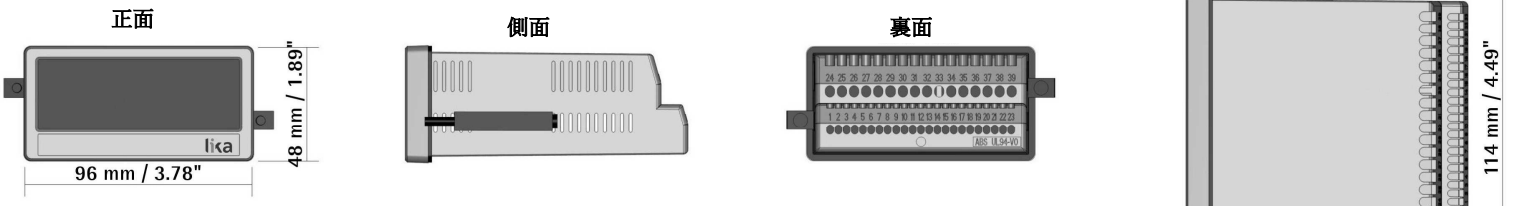
シリーズ	LD350 • LD355

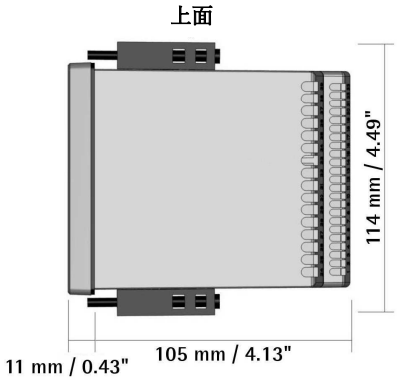
完全なドキュメントが www.lika.bizよりダウンロードできます。

警告：注文コードが「/ Sxxx」で終わるデバイスは、標準とは機械的および電気的特性が異なる場合があり、特別な接続に関する追加のドキュメント（技術情報）が付属しています。

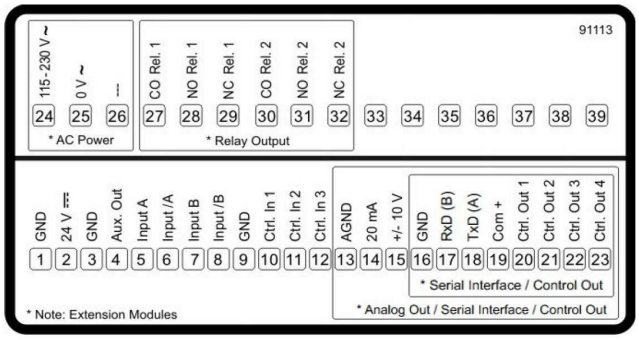
取り付け手順

- 切り欠き（約 91 W x 43 H mm）にクリップを固定せずにディスプレイを挿入します。
- ディスプレイの側面に固定クリップを取り付けてから、クリップの 2 本のネジをパネルフレームに締めます。





パネル切欠き　: 91 x 43 mm (3.58" x 1.69")



インクリメンタル入力の推奨配線については、「ユーザーズガイド」を参照してください。
許可される入力は、PNP、NPN、Namur、Tristate、RS-422、HTL 差動、HTL PNP シングルエンド、および HTLNPN シングルエンドです。

LD350 モデル = AB 入力
LD355 モデル = AB /AB

電気結線 (端子ブロック)

1	0Vdc DC 電源 (PM/P8)	17	RS-232 / RS-485 シリアルインタフェース(RxD / B)
2	+18Vdc～+30Vdc DC 電源 (PM/P8)	18	RS-232 / RS-485 シリアルインタフェース (TxD / A)
3	0Vdc補助電圧出力	19	制御出力 5 ... 30V 電圧切替
4	+18Vdc +30Vdc or +5Vdc (Vdc 電源) / +24Vdc or +5Vdc (Vac 電源) 補助電圧出力	20	PNP 制御出力 1
		21	PNP制御出力2
5	入力 A	22	PNP制御出力3
6	入力 /A (LD355 のみ)	23	PNP 制御出力 4
7	入力 B	24	+115Vac ... +230Vac AC 電源 (PM)
8	入力 /B (LD355 のみ)	25	0V AC 電源 (PM)
9	0Vdc HTL PNP 制御入力	26	空（不使用）
10	HTL PNP 制御入力 1	27	リレー出力 1 (CO 切替接点)
11	HTL PNP 制御入力 2	28	リレー出力1 (NO ノーマリーオープン接点)
12	HTL PNP 制御入力 3	29	リレー出力1 (NC ノーマリークローズド 接点)
13	0Vdc アナログ出力	30	リレー出力2 (CO 切替接点)
14	電流アナログ出力	31	リレー出力t 2 (NO ノーマリーオープン接点)
15	電圧アナログ出力	32	リレー出力2 (NC ノーマリークローズド 接点)
16	0Vdc RS-232 / RS-485		

www.lika.biz
Tel. +39 0445 806600
Fax +39 0445 806699

Lika Electronic
Via S.Lorenzo, 25
36010 Carrè (VI) - Italy

安全規格の順守

- エンコーダ装置の設置及び操作中は、常に日本国にて適用される職業上の安全と事故防止の基準を遵守すること。
- 取り付け作業は有資格者にてのみ実施されること、且つ、作業中は電源を遮断し、機械部品は停止させること。
- エンコーダは設計思想に適合した目的にのみ使用されること。
  設計された使用目的が重大な人身事故や環境破壊の原因となるような事が生じない目的のためにのみしようすること。
- 高電圧・電流及び稼働中の機械部品は重傷或いは致命的な損傷の原因となる場合があります。
- 警告！爆発や発火の危険がある地域では使用しないこと
- これらの予備警告或いはこのマニュアルの特定警告を除く設計、製造及びエンコーダ装置の使用目的上の安全基準を遵守しない場合は、
- Lika Electronic （リカ　エレクトロニクス）社は客先にてこれらの要求事項の遵守を怠った場合は、当社の責任範囲外と見なします。

電気的安全対策

- エンコーダ装置を結線する前に電源は遮断して下さい。「電気結線」の項の説明に従って結線してください。
- 使用しない線やゼロセット入力を使用しない場合は、それらを“0VDC”に結線してください。
  - エンコーダをゼロ設定する場合は，「Zero 設定」信号を +Vdc に 100 µs 以上接続した後、「 +Vdc」から切り離してください。
    名目上の電圧は 0Vdc にならなければなりません。エンコーダが休止している場合は、ゼロセットは計数方向設定の後に行ってください。
  - 計数方向 (取扱説明書参照ください。): 加算 = 0Vdc に接続; 減算= +Vdc へ接続;
- 電磁互換性の規格　2004/108/EC に準拠するには以下の予備注意が必要です。
  - エンコーダ装置を取り扱ったり設置したりする前に、エンコーダ装置に接する人体内及び工具に帯電した静電気を放電すること。
  - 電源はノイズのない安定化したものを使用すること、電源を構成する素子には必要であれば EMC フィルターを装備すること。
  - 常にシールドケーブルを使用すること（可能な場合はツイストペア-ケーブル使用のこと）
  - 必要以上に長いケーブルは避けること
  - 高圧電源ケーブルに沿って信号ケーブルを這わせないこと。
  - エンコーダ装置は静電性或いは誘導性のノイズ限からは可能な限り離して配置すること。 必要ならば、装置をノイズ源から遮蔽すること。
  - エンコーダ装置が正常に稼働することを保証するために強力なマグネットを装置上又は近くで使用しないこと。
  - ノイズを最小限にするためにシールドをコネクターハウジングに結線すること、又はフレームをグランドへ結線すること。
  - グランドがノイズの影響を受けていないこと確認すること。
  - グランド接地箇所は装置側とユーザー側両サイドで実施すること。
  - 外部干渉を最小限にするための対策方はユーザーにて実施すること。

機械的安全対策

- 「上記取り付け要領」の項に記述された内容を厳密に踏襲して装置を取り付けしてください。
- 機械的な設置は機械的可動部を停止してから実施すること。
- 装置を分解しないこと, 道具として使用しないでください。
- 損傷を受け得る溶剤や化学物質から避けてください。
- デリケートな電子機器です。取扱注してください。デバイスやシャフトを叩いたり、ショックを与えたりしないでください。
  - インストールの際は廃棄物や切削切粉、金属チップ、詰め物の混入に注意してください。
  - クリーニングは十分に行ってください。
    (ブラシや泥落とし、ジェット噴射などは磁気センサーやスケールが故障する原因になるので避けてください。)

発注コード			
LD350	-P8		-R0
LD355	-PM	**- AV1**	

+18Vdc~+30Vdc +Vdc 又は+115Vac~+230Vac	P8 PM

R0	オプションなし 2 リレー出力

オプション無し	
アナログ出力、 4 DO,RS-232 インタフェース	AV1
アナログ出力、 4 DO,RS-485 インタフェース	AV2
4 DO,RS-232 インタフェース	D01
4 DO,RS-485 インタフェース	D02

テクノロジーリンク株式会社
TECHNOLOGYLINK,LTD.
〒171-0022 東京都豊島区南池袋 3-18-35
OK ビル 2 階
Tel: 03-5924-6750 Fax:03-5924-6751
E-mail: ktomita@technology-l.com
URL: http://www.technology-link.jp